

# 鈴木一雄 写真展

## こえ 聲をきく

～ 四季にうつろう美しい日本の原風景 ～

2024年8月31日(土)～10月27日(日)

開館時間/9:00-17:00(入館は16:30まで) 月曜休館(祝日の場合は翌平日)  
入館料/一般800円 高校・大学生400円 中学生以下無料

※土・日・祝日・夏休み(8月31日まで)は高校生無料  
※65歳以上は640円(免許証などをご提示ください)  
※祖父母が孫と一緒に入館料無料(祖父母は富山県在住の方と、令和6年能登半島地震の影響により富山県内の市町村へ避難している方)  
※上記の割引は併用できません ※年間パスポート詳細は裏面をご覧ください  
※じゃらん.netより入館料の事前オンライン決済も可能です



7月上旬・沖縄県西表島



4月下旬・山形県小国町

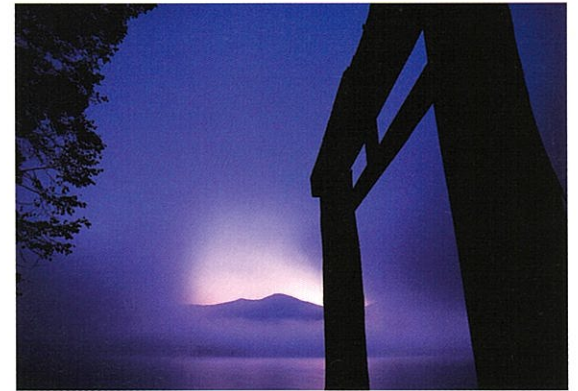


2月上旬・群馬県片品村

—あなたにはきこえていませんか、と大地が問う。  
どこまでも繊細で、どこまでも奥深い日本列島の聲を、  
私は一写入魂で描き続ける—



7月中旬・福島県檜枝岐村



10月中旬・福島県北塩原村

被写体が発する“聲(こえ)”を忘れない。美しさだけにとらわれず、あるがままの自然の姿を受入れ、被写体の背景に潜むさまざまな“聲”の全てを受けとめること。それは自分自身の“こころ”の厚みも問われる課題であると、自然写真家・鈴木一雄は語ります。自然写真家として、また一個の人として、写真愛好家たちに絶大な人気を誇る写真家の魅力あふれるシリーズを約80点ご紹介します。



鈴木 一雄 (すずき・かずお) Kazuo Suzuki

1953年福島県生まれ。自然界が発しているさまざまな聲(こえ)を五感で受け止め、その物語を描くことに精力を傾ける。写真集に「聲をさく」「サクラニイキル」「花乃聲」「季乃聲」「櫻乃聲」「おぐにの聲」「裏磐梯の聲」「尾瀬の聲」他、著書に「日本の桜200選」「風景写真の極意」「露出の極意」など多数。しあわせな写真人生を送るための「自慢史つづりと自分史つづり」を提唱している。フォト寺子屋「一の会」主宰。

<http://kazuo-suzuki.com>

【同時開催】

「すてきなカメラデザイン展」

—令和6年10月27日(日)

【次回展】

冬の企画写真展「野村誠一写真展」

令和6年11月2日(土) — 令和7年1月5日(日)

カメラ常設展「クラシックカメラの世界展」

令和6年11月2日(土) — 令和7年2月16日(日)

【関連催事】

●鈴木一雄 記念講演会&サイン会

8月31日(土) 14:00~16:00

先着60名/事前申込不要 ※入館料が必要です

●福岡町つくりもんまつりナイトミュージアム

9月21日(土)・22日(日) 夜間延長20:00まで

(入館は19:30まで)

〈年間パスポート販売中〉3,000円(1名様1枚)

販売期間/～9月16日(月・祝)

ご購入日よりご利用可能です

有効期間/ご購入日～令和7年3月30日(日)

※カメラ館受付窓口のみの販売となります。

※詳しくは当館HPをご覧ください。

【お問い合わせ先】

ミュゼふくおかカメラ館

〒939-0117

富山県高岡市福岡町福岡新559番地

TEL:0766-64-0550 FAX:0766-64-0551

<https://www.camerakan.com>

[info@camerakan.com](mailto:info@camerakan.com)

【アクセス】

あいの風とやま鉄道「福岡駅」から徒歩6分

能越自動車道「福岡I.C.」から車で10分

三井アウトレットパーク北陸小矢部から車で15分

